



平成29年通常総代会開催

平成29年3月24日午前10時両総土地改良区会議室において、総代172名出席のもと農林水産省関東農政局並びに千葉県農林水産部より多数の来賓にご臨席いただき、通常総代会を開催いたしました。

理事長挨拶 〈要約〉



理事長 森 英介

平成29年度の農業農村整備事業関連予算につきましては平成28年度補正予算において1,752億円を確保し、当初予算と合せ、ようやく平成21年度予算と同額の5,722億円で復活することが出来ました。

本土土地改良区といたしましては、現在管内で実施中の県営かんがい排水事業や基盤整備事業、ストックマネジメント事業などの早期完成に向け、予算確保に努めていきたいと考えております。また、老朽化した県営支線のパイプライン化を目的とした国営附帯県営事業計画についても関係機関への要請と協議を行っているところですので、本日お集りの関係各位の更なるご協力をお願いするところです。

国会関連の諸活動では、土地改良事業の見直しとして、農地の集積・集約化を進める事業制度の創設等が盛り込まれています。今後、土地改良法を改正した上で実行されていくことになります。

平成30年4月の3支所体制への移行に合わせ、今年1年掛けて経常経費の見直しに努めて参りますので、総代の皆様方のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

ご来賓挨拶 〈要約〉



農林水産省関東農政局

利根川水系土地改良調査管理事務所 技術調整官 山岸 雄一様

厳しい財政状況の中、土地改良事業の今後の方向性を示す新たな土地改良長期計画が昨年8月に閣議決定され高収益作物への転換による所得の増加等について取り組むことが大きな方針として示されました。

両総地区につきましては平成26年度に事業が完了して首都圏への米、生鮮野菜等の供給基地として大きな役割を担っていただいているところでございます。引き続き国営造成施設を適切に維持管理していただきますとともに新たな土地改良長期計画で示されました個性と活力のある豊かな農業・農村の実現に向けて一層の取組強化をお願いしたいと思います。

利根調では昨年度より「土地改良区コミュニケーション」といたしまして私どもの職員が定期的に改良区に伺い、色々と意見交換をさせていただいております。引き続き、地域の皆様方との連携を密にし現場の実情に即してご要望に出来るだけの確にお答えできるよう業務運営に努めて参りたいと考えております。



千葉県農林水産部 農地・農村振興課 課長 越川 浩樹様

国では農林水産業の更なる成長産業化に向けて一層の改革に取り組んでいます。特に土地改良制度に関しましては地域の営農構想の下に、農地中間管理機構と関連する基盤整備を推進することとしています。

県としては、このような改革を、農業産出額全国第2位の奪還、農業所得の向上を内容とする農林水産王国千葉の復活に向けて、十分に活用していくべきものと考えています。

農地中間管理事業により農地集積率を3割から5割に引き上げるとともに、皆様とともに作成する地域営農構想の下に基盤整備を推進し、農業所得の増加を図って参りますので、引き続き、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

両総用水の関連事業につきましては、平成28年度は、かんがい排水事業両総茂原西部地区、基幹水利施設ストックマネジメント事業両総松尾支線地区が着工しており、計画されている残りの県営支線のパイプライン化を含めて、今後とも地域の意向を十分に踏まえ、計画的な事業の推進に取り組んで参ります。